

民生・家庭部門 7-1						
削減手段	ガスエンジンコージェネレーションシステムの導入（集合住宅）					
内容・算出根拠	集合住宅に平均して 10kW 程度のガスエンジンコージェネレーションシステムを導入し、家庭内の給湯需要の 8 割をまかないその分の電力消費を削減 給湯需要：10,907MJ（「福生市地域新エネルギービジョン」の家庭エネルギー消費量のうち、約 3 割が給湯需要だとして推計） ガス給湯器の利用効率：80％ ガス消費増加分：2,014MJ / 戸・年 電力消費削減分：597kWh / 戸・年 LP ガスの CO ₂ 排出係数：0.0586 kg - CO ₂ /MJ 都市ガスの CO ₂ 排出係数：0.0513kg - CO ₂ /MJ 電力の CO ₂ 排出係数：0.378 kg - CO ₂ /kWh					
削減量単位	LP ガスの場合：1.08 t-CO ₂ /戸・年、都市ガスの場合：1.22 t-CO ₂ /戸・年					
導入コスト	現状では不明					
費用削減額	光熱費削減額：LP ガス 960 円/年、都市ガス 6,160 円/年（総務省小売物価統計 05 年 9 月：603.1 円/m ³ 、武陽ガスの一般ガス供給約款における一般契約 B 表料金：147.4 円/m ³ 、21.13 円/kWh として）					
CO ₂ 削減コスト	現状では不明					
対象	集合住宅					
目標	2010	全棟の 0.2%	2020	全棟の 1%	2030	全棟の 0%
棟数		4 棟		21 棟		0 棟
CO ₂ 削減量		5 t-CO ₂		25 t-CO ₂		0t-CO ₂

民生・家庭部門 7-2						
削減手段	燃料電池コージェネレーションシステムの導入（集合住宅）					
内容・算出根拠	集合住宅に平均して 10kW 程度の燃料電池コージェネレーションシステムを導入し、家庭内の給湯需要の 8 割をまかないその分の電力消費を削減 給湯需要：10,907MJ（「福生市地域新エネルギービジョン」の家庭エネルギー消費量のうち、約 3 割が給湯需要だとして推計） ガス給湯器の利用効率：80％ ガス消費増加分：2014MJ / 戸・年 電力消費削減分：597kWh / 戸・年 LP ガスの CO ₂ 排出係数：0.0586 kg - CO ₂ /MJ 都市ガスの CO ₂ 排出係数：0.0513 kg - CO ₂ /MJ 電力の CO ₂ 排出係数：0.378kg - CO ₂ /kWh					
削減量単位	LP ガスの場合：1.72 t-CO ₂ /戸・年、都市ガスの場合：2.22 t-CO ₂ /戸・年					
導入コスト	現状では不明					
CO ₂ 削減コスト	現状では不明					
対象	集合住宅					
目標	2010	全棟の 0%	2020	全棟の 1%	2030	全棟の 4%
棟数		0 棟		21 棟		80 棟
CO ₂ 削減量		0 t-CO ₂		43 t-CO ₂		174t-CO ₂